

e-テキスタイルの社会実装に向けた 産学官連携シンポジウム 開催報告

福井県では、e-テキスタイル（テキスタイル（布）とエレクトロニクス（電子技術）を融合した技術）関連の研究開発を全国でも先駆けて行っています。それに伴い、ふくいオープンイノベーション推進部では、県内で行われているe-テキスタイルの研究開発の支援の一環として、e-テキスタイルの出口戦略を探っています。

このたび、福井県工業技術センターにてe-テキスタイルの社会実装に向けた産学官連携シンポジウムを開催しました。

日 時：平成30年7月4日 14:00～17:00

場 所：福井県工業技術センター 講堂

対 象：県内外企業、大学、公設試、支援機関、金融機関等

参 加 者：40名（県関係者含む）

共 催：（国研）産業技術総合研究所、福井県工業技術センター、
e-テキスタイル製品開発研究会、（公財）ふくい産業支援センター

内 容：

< 講演 >

○『e-テキスタイル製品開発におけるオープンイノベーションの重要性』

産総研つくば イノベーション推進本部 地域連携部 部長
美濃輪智朗 氏

○『フレキシブルひずみセンサーの開発とみまもり応用』

産総研つくば フレキシブルエレクトロニクス研究センター
印刷プロセスチーム 研究員 金澤周介 氏

○『e-テキスタイル実現に向けたプロセス技術開発』

産総研つくば フレキシブルエレクトロニクス研究センター
副研究センター長 牛島洋史 氏

○『e-テキスタイルの社会実装に向けた出口戦略』

信州大学 特任教授（名誉教授）
Fii（ファイバー・イノベーション・インキュベーター）統括コーディネーター
平井利博 氏

<講演内容>

○『e-テキスタイル製品開発におけるオープンイノベーションの重要性』

e-テキスタイル分野を中心とした産業技術総合研究所と福井県企業の連携に向けた、北陸モデル(産総研北陸プロジェクト)について説明して頂きました。さらに、産業技術総合研究所の技術シーズについて、また福井県工業技術センター内に併設された福井サイトの利用について紹介して頂きました。



美濃輪氏講演の様子

○『フレキシブルひずみセンサーの開発とみまもり応用』

産業技術総合研究所の印刷技術により開発した、高感度ひずみセンサーの技術紹介と、それを応用したみまもりシステムについて説明して頂きました。



金澤氏講演の様子

○『e-テキスタイル実現に向けたプロセス技術開発』

電気配線の作製に印刷技術などを応用するプリンテッドエレクトロニクス分野について、世界の現状や、応用先であるウェアラブル分野について説明して頂きました。また、フレキシブルエレクトロニクスセンターの取り組みや成果について紹介して頂きました。



牛島氏講演の様子

○『e-テキスタイルの社会実装に向けた出口戦略』

日本の技術力の現状に対する問いかけ、インテリジェントテキスタイル開発に向けた国と企業の動向について説明して頂きました。またフランスのスマートテキスタイルに関する開発動向について、現地調査の結果を合わせて紹介して頂きました。



平井氏講演の様子

【お問い合わせ先】

福井県工業技術センター 新産業創出研究部 e-テキスタイル研究グループ 辻
(公財)ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部 ネットワーク推進室 近藤